

令和3年度第1回ミニ自然観察会実施結果報告

日 時：令和3年5月1日 午後2時から午後3時10分まで

テーマ：人が利用している春の植物・竹を切ってみよう

結 果： ミニ自然観察会は、来館者を対象にセンターの野外で、1時間程度の自然観察会を企画したものです。今回は竹を主テーマに植物観察を行いました。

エントランスに集合し、外に出て観察を開始しました。端午の節句の際、湯に入れる、ショウブの茎の匂いを嗅いで、ショウブであることを確認しました。それからその花を観察し、イメージしている花と違うことを知った後、ハナショウブとショウブの違いを学びました。次に食用になるタラノキを観察した後、中央の池に移動して、ジュンサイ、花が咲き始めたヤナギトラノオ、虫を捕まえる捕虫囊をもつ食虫植物のイヌタヌキモ、本葉と形がまるっきり違う、オニバスの第1葉などを観察しました。そして、切り倒してあった竹の所に移動し、モウソウチクとマダケの違いを、竹に触って確認する等して、アズマネザサで竹と笹の違いを学びました。

竹林に入り、掘ってある穴をのぞき込み、竹の地下茎の様子や、タケノコが地下茎からどのように生えているのか観察しました。タケノコを半分に切り、断面を観察した後、竹の成長は横には太らず上へ成長することがわかりました。また、その成長は2、3ヶ月で止まり、その後は伸びないことや竹の寿命は20年位であることなどを学びました。

参加者には熱心に話を聞いていただき、質問も出ていて、予想以上に盛況な観察会となりました。

最後に、竹を切ってみたい人を募ったところ、2人の子供が希望したので、モウソウチク1本を共同して切り倒し、子供たちは満足げな様子でした。そして切り倒したモウソウチクを小さく切り取って、お土産としました。

当日の様子を紹介します。

